

東広島市立高美が丘小学校

あしたに向かって～行くのが楽しくなる学校～

信頼される学校・地域とともにある学校
— 築くから広げる —

3月号

発行日：令和8年3月12日
発行者：東広島市立高美が丘小学校

TEL：082-434-7620 fax：082-434-7630 E-mail：takami-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

参観日・学級懇談会

2月27日（金）は、今年度最後の参観日、学級懇談会となりました。各学年の授業では、1年間の学習で学んだことや考えたこと、努力してきたことなどを発表しました。多くの保護者の方に見守られ、一生懸命表現する児童の姿が見られました。ご参観いただき、ありがとうございました。



1年生 生活科
「おおきくなったじぶんをみつめよう」



2年生 生活科
「あしたへジャンプ」



3年生 社会科
「市のうつりかわり」



4年生 国語科
「調べたことをほうこくしよう」



5年生 総合的な学習の時間
「安心・安全 高美が丘」



6年生 学級活動
「学年集会 親子で運動会」



たんぽぽ1組 生活単元学習
「がんばったすごろく」

6年生 ありがとうの会

3月2日（月）、5年生が中心となり、「6年生ありがとうの会」を行いました。各学年が歌やダンス、リコーダー奏で、6年生へ感謝の気持ちを届けました。校内オリエンテーリングでは、5年生の考えたクイズやゲームをしました。6年生との楽しい時間を過ごすことができました。



4年生 地域サロンに参加

4年生は、総合的な学習の時間「やさしさいっぱい高美が丘」の学習で、さまざまな立場の人の思いを知り、だれもが安心して笑顔で暮らすことのできる高美が丘にしていくという思いをもちました。そこで、2月20日（金）、3月2日（月）、3月4日（水）、社会福祉協議会の方の協力を得て、高美が丘地域センターで地域の高齢者の方と交流会を実施しました。

座ってできるゲームをしたり、一緒に歌を歌ったり、各クラスで内容を考えました。地域の方が楽しんでくださる様子を見て、高美が丘をやさしさいっぱいにしていきたいという思いがさらに高まりました。



「あいさつロード」 ありがとうございました

児童の登校を見守っていただき、ありがとうございました。



4月の行事予定と下校時刻

| 日 | 曜 | 朝会 | 学校行事 | 下校予定時刻 | | |
|----|---|----|------------------------------|------------|-----------|-------|
| | | | | 1年 | 2年 | 3年~6年 |
| 1 | 水 | | | | | |
| 2 | 木 | | | | | |
| 3 | 金 | | | | | |
| 4 | 土 | | | | | |
| 5 | 日 | | | | | |
| 6 | 月 | | 入学式準備(新6年登校) | | | |
| 7 | 火 | | | | | |
| 8 | 水 | | 就任式 始業式 入学式10:00 | 11:30 | 一斉下校13:40 | |
| 9 | 木 | | | 11:00 | 一斉下校14:50 | |
| 10 | 金 | | | 11:00 | 14:50 | 15:40 |
| 11 | 土 | | | | | |
| 12 | 日 | | | | | |
| 13 | 月 | | 1年給食開始 | 13:30 | 14:50 | 14:50 |
| 14 | 火 | | | 14:50 | 14:50 | 15:40 |
| 15 | 水 | | 交通安全教室(1年・3年) | 14:50 | 14:50 | 15:40 |
| 16 | 木 | | | 一斉下校 14:50 | | |
| 17 | 金 | | 参観日、役員決め、PTA総会 | 学年下校 13:50 | | |
| 18 | 土 | | | | | |
| 19 | 日 | | | | | |
| 20 | 月 | | | 14:50 | 14:50 | 14:50 |
| 21 | 火 | | | 14:50 | 14:50 | 15:40 |
| 22 | 水 | | 学校運営協議会(小学校) 歯科検診9:00 6年 | 14:50 | 14:50 | 15:40 |
| 23 | 木 | | 全国学力・学習状況調査 耳鼻科検診 1年13:30 | 一斉下校 14:50 | | |
| 24 | 金 | | 個人懇談 | 学年下校 13:15 | | |
| 25 | 土 | | | | | |
| 26 | 日 | | | | | |
| 27 | 月 | | 個人懇談 | 学年下校 13:15 | | |
| 28 | 火 | | 個人懇談 全国学力児童質問紙 6年 AM | 学年下校 13:15 | | |
| 29 | 水 | | 昭和の日 | | | |
| 30 | 木 | | 歯科検診 4年13:30 | 一斉下校14:50 | | |

4月の行事予定・下校時刻は、3月12日現在のものです。新年度、変更する場合がありますのでご了承ください。

学校運営協議会(学校評価表)

2月17日(火)、高美が丘中学校で第4回学校運営協議会を実施しました。本校の1年間の取組を自己評価したものを委員の方に見ていただきました。委員の方から「地域と学校のつながりが、より活発になるように地域の一員として努力工夫していきたい」等のご意見をいただきました。

| 評価計画 | | | | | | 自己評価 | | | | | 学校関係者評価 | |
|-----------------|----|--|---|---|---|------------------------------------|-------|-------|-----|--|---|---|
| 項目 | 重点 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 目標達成のための方策 | 評価項目 | 達成値 | | 達成度 | 評価 | 結果と課題の分析 | 評価 | |
| | | | | | | 10月 | 2月 | | | | | |
| わかる授業、できる喜び | 1 | ○目標をもち「わかった」「できた」のために本気で学ぶ児童 ○わかる授業のためにICTを適切に使う力を身に着けた教師 | 日々の授業改善と研修の充実 | できた、わかった、やってみたいと実感している児童の割合 | 80% | 90% | 91% | 113 | 4 | 「できた、わかった93%・もっと知りたいたい88%」考えを比較させる発問や板書を工夫し、新たな気づきや、本時の学びにつなげ、両項目とも目標を上回ることができた。 | A | |
| | | | | 研修を日々の授業改善に生かす教職員の割合 | 85% | 91% | 100% | 117 | 4 | 提案授業を通して、考えを比較させるための発問や板書、子供が主体的に学べるしなげについて職員全体で学び、通信等で共有を図ったことで授業改善に生かすことができた。 | A | |
| | | | | ICTを効果的に活用する授業づくりの工夫 | 85% | 59% | 100% | 118 | 4 | ドリルワークやCanvaなどの授業で活用できるアプリの活用方法について、研修の時間を設けたり、ICT支援員のサポートを受けて授業を実施したりしたことが成果につながった。 | A | |
| | | | 機会、目標、場の設定の工夫による運動意欲、体力、運動能力の向上と健康な生活への意識向上 | 児童の実態に応じた、運動意欲と運動能力向上のための工夫 | 運動の機会や場に積極的に参加し体育の時間(運動すること)が楽しいと感じる児童の割合 | 85% | 89% | 91% | 107 | 4 | 持久走大会や天福大会では、授業や休憩時間(練習)し主体的に体を動かすことができた。授業に合わせた学習コーナーを作ったり、ICTを使ったりするなど場の工夫や技術の向上を図り目標値を上回ることができた。 | A |
| | | | | 各学年に応じた食育の実施 | 給食残量率の平均値 | 3.5% 未満 | 4.90% | 6.96% | 50 | 1 | 1年生保護者等対象の給食試食会・講演会、5年生のリクエスト献立作成(栄養教諭指導)等、食育を実施した。学校保健委員会でも協議し、学校医等から指導助言を得た。 | B |
| 自主性・繋がる心 | 2 | ○相手のことを考えて判断し、行動する児童 ○児童に寄り添い、関わりきる教職員 | 「高美っ子の3スター」の意識を理解し実践する児童の育成 | 「あいさつ・人のために行動・いいねい排除を自分から行っている」と答える児童の割合 | 85% | 91% | 92% | 108 | 4 | 高美っ子の3スターと運動させ、毎月のめあてを全校朝会で示し、振り返りをした。1月は、児童が学年ごとに高美っ子めあてを考慮することで意識が高まった。 | A | |
| | | | | 高美っ子チャレンジデー(ノーテレビ、ノーネットデー)の実施による生活改善意識の向上 | 「高美っ子チャレンジデーの日の時間(運動すること)が楽しい」と答える児童の割合 | 80% | 91% | 87% | 108 | 4 | 家庭の協力もあり、積極的に取り組む児童が多い。しかし、肯定的な評価が下がっており、もう一度チャレンジデーの意味や時間の使いかたについて考える時間を設けていきたい。 | A |
| | | | | 教職員の連携による課題発見と児童理解に基づいた指導の実施 | 「困ったことを相談できる人がいる」と答える児童の割合 | 85% | 92% | 94% | 110 | 4 | 学年に応じてこのころの授業を全クラスで行った結果、相談できる人がいる児童の割合は高まった。今後も全児童が肯定的に評価できるよう声を掛け続けた。 | A |
| | | | 日ごろから児童理解に努め、組織的に行う体制づくり | 児童理解、特別支援教育に関する研修の実施 | 特別支援教育に関する研修の回数 | 年3回 | 2回 | 3回 | 100 | 3 | 運動会や学習発表会の前に対応児童支援を行い、全職員で児童への支援を行う体制づくりができた。夏休み中に、発達障害への理解や支援の在り方を研修した。 | A |
| | | | | 学校、保護者、地域と一体となった取組の推進 | 地域に愛着を持ち、貢献しようとする児童の育成 | 「感謝の気持ちをもっている」「自分も地域の役に立ちたい」と肯定的評価 | 80% | 96% | 95% | 118 | 4 | どの学年も地域の方とのつながりを持ち、協力を得ながら学習した。児童は、自分の住む地域への関心や愛着をもつことができた。 |
| 信頼・コミュニケーションスキル | 3 | ○コミュニティ・スクールの推進による、「行くのが楽しくなる学校づくり」「元気なまちづくり」 | 学校、保護者、地域と一体となった取組の推進 | 地域、保護者への積極的な情報発信 | HIP更新 | 月1回 | 月1回 | 月1回 | 100 | 3 | 年間を通して、月1回の更新は継続できた。学年の担当者によって更新について、定期的に呼びかけを行ったことが成果だと考える。 | A |
| | | | | あいさつロードの実施 | あいさつロードの実施と情報共有 | 毎週月曜日 | 毎週月曜日 | 毎週 | 100 | 3 | 毎週、地域、保護者の協力のもと実施することができた。 | A |
| | | | | 保幼小中連携教育の充実 | 合同研修や研究授業参加による教職員どうしの理解 | 小中合同研修の回数 | 年2回 | 1回 | 2回 | 100 | 3 | 小中の教職員で交流しながら研修をすることができた。2回目は3月に実施予定。 |
| | | | 児童の、安全を意欲した生活態度の育成 | 児童が安心して学校生活できる環境づくり | 「学校が楽しい」と思える児童の割合 | 90% | 94% | 93% | 103 | 4 | 講師を招聘し体験的な学習を行ったり安全面や生徒指導面の課題についてしっかりと取り組んだりした成果と考える。 | A |
| | | | | 教職員同士の感謝と認め合いによるやりがいの向上 | 教職員同士の声掛けと感謝の全体共有 | 相談しやすい職場であると答える教職員の割合 | 85% | 95% | 96% | 112 | 4 | 日頃から声を掛け合い、教職員同士のコミュニケーションを大切にできた成果と考える。 |
| チーム力 | 4 | ○危機管理の徹底による安全、安心な学校づくり ○働き甲斐のある職場づくり | 児童の、安全を意欲した生活態度の育成 | 児童が安心して学校生活できる環境づくり | 「学校が楽しい」と思える児童の割合 | 90% | 94% | 93% | 103 | 4 | 講師を招聘し体験的な学習を行ったり安全面や生徒指導面の課題についてしっかりと取り組んだりした成果と考える。 | A |
| | | | | 教職員同士の感謝と認め合いによるやりがいの向上 | 教職員同士の声掛けと感謝の全体共有 | 相談しやすい職場であると答える教職員の割合 | 85% | 95% | 96% | 112 | 4 | 日頃から声を掛け合い、教職員同士のコミュニケーションを大切にできた成果と考える。 |